



南雲 正

質問

最先端がん治療施設をノリタ光学跡地に誘致し、それに伴うスーパー特区の申請を湯沢町が行うという発表があった。あまりにも唐突で、事業内容が明確でないことから、8月26日提案者である(医)桂仁会理事等3名が議員、町幹部職員に対する説明会を行った。8月11日の議員協議会での説明と提案者や財団の名称、代表、特区の申請者等が変わり、特区申請のメンバー、新設される財団の組織、施設の建設計画、資金計画等が明示されず、質問に対しては明確な答弁もなく、資金計画もずさんな見通しであり信頼できるものではなかった。提案者が開設した茨城県の医療福祉センター

最先端がん治療施設の誘致には慎重な対応を

は竣工時に町長が出席し、広報ゆざわで絶賛していたにも関わらず今だ稼働していない。中心的人物の経歴等のふれこみが事実と大きく異なること、このプロジェクトは口頭だけの説明で書類の提出も無い状況を勘案すると不安がいつぱいである。雇用機会の創出、地域経済の活性化には期待できるものであるが、町民の財産である町有地の売却等、本当に信頼できることが確認されてから対応すべきであり、当計画に対してあらゆる調査を行い、慎重に対応すべき責任があると思うが町長の見解を伺う。

町長答弁

言われているようなことを私は聞いていない、南雲議員とは考え方が違う。町民の皆さんに迷惑をかけるためにしているわけではな

質問

い。提案者、財団代表者の変更については私がこの場で言うことは差し控えたい、14日の説明会で本人に直接聞いて欲しい。

スーパー特区の申請期限は9月12日であり、財団申請も8月中に行い、メンバー、内容等は8月末までに発表するということであるが、9月14日の町民説明会で発表すると先延ばしになっている。なぜ事前に町議会に発表できないのか。また施設が稼働し運営されて、初めて地域経済の活性化が図られる。茨城の施設のような形態が生じたら誘致の意味が無い。町民説明会には必ずメンバー、計画等の資料を提出して欲しい。

町長答弁

スーパー特区の申請メン

質問

バー、内容の資料は全部出てきているが、国策で進めているので事前公表は出来ない。9月12日の申請が終了しだい町に届けられることになっているので待つて欲しい。財団の組織メンバーも14日の説明会で発表される。

大源太エリアをお客様のニーズにあった環境に

自然に遊ぶ観光が脚光を呼び、毎日数台の観光バスが訪れる大源太エリアは夏場3万人近い人が訪れる。服装等の関係と物販が少ないことから、何も楽しむことなくバスですぐ帰ることが多く、連れてきてくれたバス会社、旅行者や訪れたお客様の期待を裏切る結果となっている。体験工房での物販、営利行為が

町長答弁

出来ないという縛りを早急に取り除くこと、大源太湖の水辺や周遊コースを誰もが楽しめる環境の整備等、お客様の目線にあった環境の整備を行い、大源太エリア全体を自然公園として位置づけ、夏観光の拠点としての展開を求める。

言われたことを踏まえて、お客様の目線に立つての整備を産業観光課で対応したい。体験工房の縛りの解除については国、県と折衝し地域が生きられるように対応したい。



稼働していない宮山公園医療福祉センター(茨城)